

造形通信

2025. 11月
N0.82
ひいらぎこども園

すっかり秋になりました。葉っぱが赤や黄色に色づき、美しい秋色の景色です。町の街路樹は美しい秋色に染まり、もうすぐしたら葉っぱのじゅうたんができそうです。こども園では、子どもたちが園庭にできたみかんや柿を収穫したり、どんぐりや色づいた葉っぱを集めたりと「秋」を楽しんでいます。わたしたちも子どもたちと一緒に、もうしばらく、秋を楽しみたいです。

秋を感じて 秋 と遊ぶ

触れて

食べて

作って

遊んで

たくさんの葉っぱを集めて、葉っぱのプール。中に入ってみると、葉っぱの暖かさを感じる子どもたち。葉っぱを抱えて、パラパラと落とし始めます。この繰り返しがおもしろいのでしょう。体中で落ち葉の温かさを感じる子どもたちです。自然を肌で感じることはとても大切です。澄み切った青空や木々の色づきを感じ、実った果実を触ったり、匂ったり、食べてみたり、自然物を使って遊んだり、作ったり、五感を通して様々な活動をしている子どもたちです。

楽しくて満面の笑顔！

葉っぱのプールに子どもたちはおおはしゃぎ！

葉っぱを並べて、冠をつくるよ！

葉っぱの冠！

お花のペンダント！

うんと手を伸ばしておいしそうな柿をとっています。

園の中は 秋

がいっぱい

扉を開けると、先生手作りの恐竜がお出迎え！

おいものつるを使って、リースを作りました。どんぐりや葉っぱを周りにつけました。とっても素敵なリースです。

セロハンテープを下にして、アイスの棒で四方枠を作り、その中に葉っぱや実を置き、『レジ』(商品名)という透明液体を流し込み、そのあと乾燥させて出来上がり！
とっても素敵な飾りになりました。おしゃれですね。